

実践プロジェクト案① 「話を聞いてよ、〇〇さん！」プロジェクト 実施スケジュール
 (自治会区長さん編)

■……リーダー(サブリーダー)が実施 ■……メンバー全員で実施

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
井戸端会議の開催		★					★					
1. モデル区と課題の設定												
プロジェクトの目的・進め方の設定		■	■									
モデル区の選定・課題の洗い出し			■									
区長への依頼状作成・アポイント			■									
区長との懇談			■									
2. 改善策の検討と実施												
区長・専門家との懇談			■									
自治会メンバーとの意見交換				■								
自治会としての改善策の検討 (新しい防災訓練計画づくりなど)				■	■	■	■					
自治会向けアンケートの作成・依頼							■					
自治会での解決策実践の参加・観察								■				
アンケート結果のまとめ								■				
3. 結果の検証と今後の検討												
自治会改善の結果の確認と今後の検討									■			
成果の広報									■	■		

防災・避難所など、男女共同上の自治会での課題を洗い出す

区長・専門家への依頼は町がサポート(謝礼が必要か)

自治会活動の改善方法を専門家をまじえて検討

想定される課題と改善策を投げかけ、自治会メンバーの意見をきく(意見交換回、アンケートなど)

改善を行うのは自治会だが、井戸端メンバーがアイデア出しなど部分的に参加・協力

改善結果を確認するアンケートを作成

町が広報を実施、井戸端メンバーはSNSや各自治会への結果報告などで広報を支援

実践プロジェクト案② 「相談しよう、そうしよう！」プロジェクト 実施スケジュール

■……リーダー（サブリーダー）が実施 ■……メンバー全員で実施

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
井戸端会議の開催		★	(★)				★					
1. 周知すべき窓口の検討												
既存の相談窓口の洗い出し		■	■									
周知すべき対象と方法の検討 (誰に何の情報をどう伝えるべきか)			■									
2. 周知・広報												
周知方法の企画			■	■								
役割分担の取り決め				■								
各周知ツールの作成・運用 (住民アンケートなどで効果を検証?)				■	■	■	■	■	■			
3. 結果の検証と今後の検討												
結果共有と「足りない窓口」の追加検討										■		
新設する窓口／コンシェルジュ等の検討										■		

国・県・市町村のもの。
町からも情報提供

チラシ作成、HPやSNSによる周知などを想定。井戸端会議意見からリーダーがまとめる。

誰が何をするかを決めて実施
町は広報誌やHPなどで周知を支援

公民館、福祉窓口、学校などと連携して、簡易的にアンケートを実施？（広報が届いているか検証）

リーダー／サブリーダーと町で、町として新設する窓口やコンシェルジュなどのアイデアを検討（次年度予算に反映も？）

実践プロジェクト案③ 「町内イベント盛り上げ隊」プロジェクト 実施スケジュール
 (みのわ祭り編)

■……リーダー（サブリーダー）が実施 ■……メンバー全員で実施

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
井戸端会議の開催		★		(★)			★					
1. 参加コンテンツの設計												
目的（伝えたいメッセージ）の検討		■										
参加イベント選定・企画アイデア出し			■									
企画案の取り決め			■	■								
専門スキルのある人との企画練り上げ				■								
2. コンテンツの制作												
役割分担・スケジュールの取り決め				■								
コンテンツの制作				■	■	■	■					
参加イベントへの申し込み							■					
3. イベント参加（実演・上映等）												
参加準備								■				
参加（実演・上映等）								■				
4. 振り返りと今後の検討												
結果の振り返り・今後の活用検討（次年度企画検討）								■				
コンテンツ等の今後の活用（SNS、広報等）												(各メンバーで実践できることがあれば実施)

専門スキルのある人の招聘にかかる予算は町がサポート（補助金の活用も検討）

イベントに出すコンテンツとしては、音楽演奏、踊り（ドラッグクイーンなど？）、演劇、ショートムービーなどを想定

町で、コンテンツに合わせた著名人の招聘などができればなお良し（幅広い町民の関心を惹くため）

制作した映像やイベント時の動画等を、SNSやHP等での広報ツールや、学校教材などとして活用するといった想定

実践プロジェクト案④ 「多世代交流みのわサロン」プロジェクト 実施スケジュール

■……リーダー（サブリーダー）が実施 ■……メンバー全員で実施

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
井戸端会議の開催		★		(★)			★					
1. 企画												
目的（テーマ）の検討												
内容・講師・開催場所の選定												
講師への依頼、場所の手配確												
サロン内容の詳細企画												
2. 参加者募集												
参加者募集ツール（チラシ等）の作成												
参加者呼びかけ・申し込み受付												
3. サロンの開催												
講師との事前確認 （講演内容、タイムテーブルなど）												
会場設営方法の確認・必要備品の準備												
サロンの開催												
4. 振り返りと今後の検討												
結果の振り返り、次回の企画検討												
サロン開催報告（SNS、広報等）												

テーマに沿った補助金などあるか町に相談し、あれば活用する。

場所や講師などの決定。
なお、スキルを活かせる場とし、社会で活躍する人を講師に呼ぶことを想定し、町に情報提供などをしてもらおう。

例えば「女性の社会活躍」をテーマにして、村内外で活躍している女性を講師に招くなど

サロンの会場や参加者との交流方法などの詳細を講師と一緒に検討

町が広報誌やHPで協力。申込フォームをつくるなど、無料Webサービスなども活用して申し込みやすい仕組みをつくる（広報、受付などメンバーが分担して実施）

やり方がわかってくれば、年に2～3回の開催も想定。この年度中にもう1回やってみる手もある

町の広報誌やHP、SNSなどを活用して、サロンの様子を宣伝